

建設産業の担い手確保・育成に向けた助成制度及び取組について(令和2年度)
 [北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会]

【助成制度】 (※備考欄に「働」と記載されているものは、働き方改革に関連する助成制度。)

団体名	制度の名称等	制度の概要	備考
北海道 (建設部建設管理課)	建設業担い手対策支援事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・対象～北海道建設業協会、地方建設業協会、業種別団体 ・対象事業～建設業団体等が行う入職促進や定着促進、生産性向上に資する取組に補助する。 ・補助率～1/2以内 ・補助限度額～100万円 ・申請時期～4月 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○他団体との重複助成の可否等について ・国(独立行政法人含む)、道(他部局)及び道から補助金等を受けている団体・企業の補助制度の対象となっている事業は補助対象外。 ・市町村や、道から補助金等を受けていない団体・企業の補助制度の対象となっている事業は補助対象。ただし、交付額は、市町村等からの補助金等を差し引いた額の1/2以内。 	働
北海道 (経済部雇用労政課)	中小企業労働福祉推進事業費	<p>職業病・労働災害を防止し労働者の安全と健康を確保するため、(一社)北海道医師会が行う産業医等の研修事業に対し助成する。</p>	働
北海道 (経済部産業人材課)	事業内職業訓練事業費補助	<p>職業能力開発促進法に定める訓練基準に従い、知事の認定を受けて職業訓練を行う中小企業事業主団体等に対し、運営費及び機械整備費等に要する経費を補助する。</p> <p>1 事業内職業訓練運営費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・認定職業訓練を実施する職業能力開発促進法第13条に規定する事業主等又はその連合団体 ○補助対象経費 <ul style="list-style-type: none"> ・認定職業訓練のうち集合して行う訓練に要する経費 ア 指導員・講師等の謝金、建物の借上及び教材費等の経費 イ その他管理運営必要経費のうち特に必要と認める経費 ○補助率 <ul style="list-style-type: none"> 補助対象経費の2/3以内 <p>2 事業内職業訓練設備整備費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・認定職業訓練を実施するため職業訓練共同設備を整備する市町村又は中小企業事業主の団体 ○補助対象経費 <ul style="list-style-type: none"> ・集合して行う学科及び実技の訓練に使用する教室、実習場の機械器具等の整備に要する経費で購入価格1点20,000円以上のもの ○補助率 <ul style="list-style-type: none"> 補助対象経費の2/3以内 	働

団体名	制度の名称等	制度の概要	備考
北海道建設業信用保証(株)	道内建設業担い手確保助成事業	<p>1. 助成対象事業 (1)高校生等を対象とした建設業の研修会・現場見学会等 (2)高校生等を対象とした施工管理技士等建設業関係の資格取得支援(受験料・講習会開催等) (3)児童・生徒・学生等を対象とした建設業についての理解・認識を深めるための事業 (4)建設業新入社員合同研修 (5)富士教育訓練センター研修参加支援(交通費) (6)建設業の生産性向上に関する研修会・講習会等 など</p> <p>2. 助成対象者 ○北海道内の建設業者で組織する団体(道建協、地方建協、北海道建青会及びその会員団体など)</p> <p>3. 助成実施期間 ○2019年4月1日から2024年3月31日までの5カ年度</p> <p>4. 助成額 (1)総額:1億円を限度(1年度当たり原則2,000万円) (2)1事業に係る助成額:原則180万円以内 (3)助成率:総事業費の9/10を限度(ただし1.(5)は5/10)</p> <p>5. 助成手続き (1)助成を受けようとする団体は、事業実施の前年度の1月末までに、原則として道建協若しくは地方建協又は建専連北海道等を経由して申請 →当社は、助成の可否及び内容を検討のうえ、経由団体を通じ結果を通知 (2)助成対象となった団体は、事業実施後、事業実施年度の1月末までに、原則として前述の団体を経由して助成金の支払を請求 →当社は、請求内容を審査のうえ、請求団体に助成金支払</p> <hr/> <p>○他団体との重複助成の可否等について 他団体との重複助成は可。 (本事業は、株式会社である弊社が建設業団体に行う「寄付」であり、公的資金は一切投入されていないため)</p>	
北海道労働局	トライアル雇用助成金	<p>○若年・女性建設労働者トライアルコース 職業経験の不足などから就職に不安のある若年者(35歳未満)や女性を対象として、一定期間試行雇用を行った場合の支援措置であるトライアル雇用助成金(一般トライアルコースまたは障害者トライアルコース)に上乗せ助成。 【助成額】上乗せ額 1人あたり月4万円(最大3ヶ月)</p>	働

団体名	制度の名称等	制度の概要	備考
北海道労働局	人材確保等支援助成金 (①雇用管理制度助成コース(建設分野))	若年及び女性労働者の入職や定着を図るため、就業規則や労働協約を変更することにより雇用管理改善につながる制度 (①評価・処遇制度、②研修制度、③健康づくり制度、④メンター制度)を新たに導入し、実際に適用した場合に助成 【助成額】 (1)(定着改善):計画期間終了後1年間の離職率改善目標達成 生産性要件を満たした場合 72万円 満たさなかった場合 57万円 (2)(入職改善):計画期間終了後1年間の若年及び女性の入職率が目標を達成→(1)に加え、 生産性要件を満たした場合 72万円 満たさなかった場合 57万円 (3)(入職改善):計画期間終了後3年間の若年及び女性の入職率が目標を達成→(1)、(2)に加え、 生産性要件を満たした場合 108万円 満たさなかった場合 85.5万円 ※ 生産性要件:3年間の生産性伸び率6%以上(年平均2%)を要件(以下同じ) 若年労働者の入職や定着を図るため、就業規則や労働協約を変更することにより登録基幹技能者の賃金テーブルまたは手当を増額改定し、実際に適用した場合に助成 【助成額】 1年目 月額4,167円以上かつ年額5万円以上 2年目 月額8,334円以上かつ年額10万円以上 3年目 月額12,500円以上かつ年額15万円以上 生産性要件を満たした場合 4.2万円 満たさなかった場合 3.32万円/人年 年間2%以上かつ10万円以上 生産性要件を満たした場合 8.4万円 満たさなかった場合6.65万円/人年(最大3年間)	働
北海道労働局	人材確保等支援助成金 (②若年者及び女性に魅力ある職場づくり事業コース(建設分野))	若年労働者及び女性労働者の入職や定着を図るため、「若年者及び女性労働者に魅力ある職場づくり」につながる取組や広域的な職業訓練の推進活動を実施した場合に助成 (事業主向けメニュー) ○現場見学会や体験実習、インターンシップ等の建設業の魅力伝える取組など (事業主団体向けメニュー) ○学生や教員に対する現場見学会や体験学習など魅力を伝える取組など 【助成率】 (経費助成) ・中小建設事業主 生産性要件を満たした場合 3/4 満たさなかった場合 3/5 ・中小建設事業主以外 生産性要件を満たした場合 3/5 満たさなかった場合 9/20など	働
北海道労働局	人材確保等支援助成金 (③作業員宿舎等設置助成コース(建設分野))	作業員宿舎等の確保(被災三県のみ)、建設現場の女性専用トイレ・更衣室を整備した場合に助成 【助成率】 (経費助成) 生産性要件を満たした場合 3/4 満たさなかった場合 3/5など	働
北海道労働局	人材開発支援助成金 (①建設労働者認定訓練コース)	職業能力開発促進法に規定する認定職業訓練または指導員訓練のうち、建設関連の訓練を実施した場合に助成 【助成率・額】 (経費助成) 補助対象経費の 1/6 (賃金助成) 生産性要件を満たした場合 4,800円/日 満たさなかった場合 3,800円/日	働

団体名	制度の名称等	制度の概要	備考
北海道労働局	人材開発支援助成金 (②建設労働者技能実習コース)	<p>若年労働者等の育成と熟練技能の維持・向上を図るため、キャリアに応じた技能実習を実施した場合に助成(女性労働者を対象として実施する場合は中小建設事業主以外も助成対象(経費のみ))</p> <p>○安衛法に基づく教習及び技能講習や特別教育 ○能開法に規定する技能検定試験のための事前講習 ○建設業法施行規則に規定する登録基幹技能者講習 など</p> <p>【助成率・額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20人以下の中小建設事業主 (経費助成) 生産性要件を満たした場合 9/10 満たさなかった場合 3/4 (賃金助成) 生産性要件を満たした場合 9,600円/日 満たさなかった場合 7,600円/日 ・中小建設事業主(20人以下建設事業主は除く) (経費助成) 35歳未満 生産性要件を満たした場合 17/20 満たさなかった場合 7/10 35歳以上 生産性要件を満たした場合 3/5 満たさなかった場合 9/20 (賃金助成) 生産性要件を満たした場合 8,400円/日 満たさなかった場合 6,650円/日 ・中小建設事業主以外 (経費助成) 生産性要件を満たした場合 3/4 満たさなかった場合 3/5(女性のみ) など 	働
札幌市	建設業人材確保・育成支援事業助成事業 (女性用トイレ・更衣室の設置)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者～工事等の受注業者 ・対象～札幌市建設局発注工事(業務)の現場における女性用トイレまたは更衣室の設置費 ・補助率～100% ・助成限度額～50万円(2箇所目の設置は25万円) 	働
札幌市	建設業人材確保・育成支援事業助成事業 (女性用装備品の購入)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者～工事等の受注業者 ・対象～札幌市建設局発注工事(業務)の現場に従事する女性が使用する装備品の購入費 ・補助率～100% ・助成限度額～1人あたり3万円(1企業15万円まで) 	働
札幌市	建設業人材確保・育成支援事業助成事業 (インターンシップの受入れ)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者～工事等の受注業者 ・対象～学生等のインターンシップ受入れの実施 ・助成額～研修期間2日で7万円、3日以上で10万円(1企業各年度1回まで) 	働
札幌市	建設業人材確保・育成支援事業助成事業 (大型特殊免許の取得)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者～除雪業務等の受注業者 ・対象～雇用者の大型特殊自動車免許の取得にかかる経費(教習所) ・補助率～50% ・助成限度額～4万円 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他団体との重複助成の可否等について ・国の助成金を差し引いた額の1/2以内 	働

【取組】 (※備考欄に「働」と記載されているものは、働き方改革に関連する取組。)

団体名	事業名等	事業の概要	備考
北海道 (建設部建設管理課)	建設産業ふれあい展	建設産業の魅力や役割を広く道民にPRするため、関係団体の協力を得て開催する。(札幌市との共催) ・時期～令和3年1月(予定) ・場所～札幌駅前通地下歩行空間(予定) ・内容～仕事体験、パネル展示、クイズラリーなど	
北海道 (建設部建設管理課)	建設産業魅力発信セミナー	建設産業の魅力や役割を広く道民(高校生やその保護者が中心)にPRするために開催する。 ・時期及び場所(1ヶ所)～未定 ・内容～基調講演、若手技術者等の体験談など。	
北海道 (建設部建設管理課)	女性活躍推進セミナー	女性が建設業界で活躍できるよう、女性の積極的な採用や働き続けられる職場づくりの機運の醸成を図るために開催する。 ・対象～建設事業者等(経営者、人事・労務担当者) ・時期及び場所(1ヶ所)～未定 ・内容～基調講演、意見交換など。	働
北海道 (建設部建設管理課)	ICT体験講習会	建設産業におけるICTの活用状況をPRしながら、建設産業の魅力を発信するために開催する。 ・対象～高校生等 ・時期及び場所(2ヶ所)～未定 ・内容～座学、実習(ドローン操縦体験など) (※学校での出前講座形式で実施)	
北海道 (建設部建設管理課)	情報発信・育成方法習得研修会	効果的な企業PR方法や若手職員育成方法を習得してもらうために開催する。 ・対象～建設事業者等(経営者、人事・労務・広報担当者) ・時期及び場所(2ヶ所)～未定 ・内容～若者が情報源としているホームページやソーシャルメディアの有効活用と、若者の思考や行動パターンについて習得する。	働
北海道 (建設部建設管理課)	建設産業体験会	小学生が興味を持ちそうな大規模施設・工事現場の見学、ものづくり体験、重機試乗体験をとおして建設産業に興味を持ってもらい、将来の就職につなげる。 ・対象～小学生親子(中学生、高校生も参加可能) ・時期及び場所(3ヶ所)～釧路地域、胆振地域、空知地域	
北海道 (建設部建設管理課)	若手建設産業就業者と高校生の意見交換会	若手建設産業就業者から、直接、建設産業の仕事の内容ややりがいなどを聞くことにより、建設産業の仕事の魅力を理解してもらい、就職につなげる。 ・対象～高校生 ・時期及び場所(2ヶ所)～未定	働
北海道 (建設部建設管理課)	出前講座	建設産業の仕事の役割や魅力を理解してもらうとともに、職業観・就業意識を育てるため、中学校や高校において出前講座を実施する。	働
北海道 (建設部建設管理課)	建設業サポートセンターの運営	本庁及び各振興局に建設業サポートセンター(地域建設業サポートセンター)を設置し、建設業の経営強化、経営の多角化、人材の育成等に関する相談対応や情報提供等を行う。	働
北海道 (建設部建設管理課)	メールマガジンの配信	建設産業の役割、重要性の発信や、各種支援施策などの情報をタイムリーに提供するため、メールマガジン「建設業チャレンジ通信『道知るべ』」を発行する。	
北海道 (建設部計画管理課)	高校生建築デザインコンクール	将来建築技術者を志す高校(建築系学科)の生徒を対象として、将来の建築技術者としての経験・財産となるよう公共建築物のデザインコンクールを実施する。	
北海道 (建設部計画管理課)	学生等を対象とした建設現場見学会への支援	建設産業への理解を深めるため、高校生等を対象として各地域の建設業協会等が実施する建設現場見学会の取組を支援する。	

団体名	事業名等	事業の概要	備考
北海道 (建設部)	住宅、社会資本整備等のパネル展の開催	建設産業が担っている、住宅や社会資本の整備などについて、広く道民に紹介するためのパネル展を開催する。	
北海道 (経済部雇用労政課)	北海道建設雇用改善優良事業所知事表彰	建設労働者の雇用の改善及び建設業に従事する季節労働者の通年雇用化の推進のための環境整備等について、積極的な活動を展開し、その成果がみられる中小建設事業所を表彰することにより、建設業における雇用の改善を促進する。	働
北海道 (経済部雇用労政課)	就業環境改善支援事業費	中小企業等の就業環境改善を促進するため、地域企業へのハンズオン支援(専門家派遣)と優良事例の普及に取り組む。	働
北海道 (経済部雇用労政課)	中小企業労働相談費	労使からの相談に対応するため、労働相談ホットラインによる相談業務を委託により実施するとともに、全道15カ所に中小企業労働相談所を設置する。	働
北海道 (経済部雇用労政課)	中小企業労働福祉推進事業費	労働時間短縮並びに男女間の就労環境の格差解消をはじめ、重要な労働問題のテーマ等について、中小企業の事業主や労働者に対して普及啓発を行い、中小企業における労働福祉の向上を図るとともに、職業病・労働災害を防止し労働者の安全と健康を確保するため、意見交換等を実施する。	働
北海道 (経済部雇用労政課)	誰もが働きやすい職場環境づくり事業費	仕事と家庭の両立や女性活躍の取組を含めた働き方改革の推進を図るため、「北海道働き方改革推進企業認定制度」や表彰の実施などにより、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる企業を支援する。	働
北海道 (経済部雇用労政課)	北海道就業支援センター事業費	多様な人材の就業促進のため、北海道就業支援センター(ジョブカフェ、ジョブサロン、マザーズ・キャリアカフェ)において、求職者に対するきめ細かな職業カウンセリング等を行う。 また、企業における個別の人材確保や職場定着を支援する。	働
北海道 (経済部産業人材課)	道立高等技術専門学院における建設関連人材育成	○建築技術科(札幌、函館、旭川、北見、帯広、釧路)における技能者の育成 ・2年間(釧路は1年制も併設)の施設内訓練により建築大工等を養成[訓練定員:各20名(函館、北見、釧路は各10名)] ○能力開発セミナーによる建設関連企業に在職者のスキルアップ ・令和2年度計画では建築科、土木科、管工事科、電気工事科等のコースを実施予定(17コース、225名) ○委託訓練による求職者を対象とした建設分野の人材育成 ・令和2年度計画では、建設技術科等7コース、定員75名で実施予定 ・うち、技能、企業実習、座学を組み合わせた建設人材育成コースは2コース(27名)設定	
(一社)北海道建設業協会	人材確保等支援事業(現場見学会・現場実習[インターンシップ]の実施)	・対象～小学生、中学生、高校生、保護者 ・場所～道内建設工事現場(現場見学会・現場実習[インターンシップ]) ・時期～4月～11月 ・内容～建設産業の役割と魅力を伝える。	働
(一社)北海道建設業協会	人材確保等支援事業(講習会の開催)	・対象～道内の工業、農業高校生徒及び教師 ・場所～各高校会議室等 ・時期～11月～翌3月 ・内容～「第一種酸素欠乏症に係る特別教育」講習会開催	
(一社)北海道建設業協会	道内建設業若年者育成助成事業	・対象～道内の工業、農業高校生徒(普通高校含む) ・時期～6月～翌2月 ・内容～施工管理技士資格取得支援	
(一社)北海道建設業協会	人材確保等支援事業(女性建設技術者等の活躍促進)	・任意団体「建設どさん娘の会」活動のサポートを行う。 ・内容～関係機関との意見交換会、大学、高校生の保護者との現場見学会の実施	働

団体名	事業名等	事業の概要	備考
建設産業専門団体 北海道地区連合会	建設産業ふれあい展	札幌駅前地下歩行空間にて幼児・小中高生・保護者等を対象とした体験学習を通じて建設産業を身近に感じて頂き、未来の担い手の確保につなげる事を目的とする。	
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部	離職者訓練 (アビリティコース)	離職者の方々を対象に、ものづくり分野(機械系、電気・電子系、居住系)への再就職を目的として、技能・技術及び関連知識を習得する6ヶ月の訓練を実施。(建設荷役車両運転科、住宅リフォーム技術科、住環境計画科、ビル管理技術科、電気設備技術科、ものづくり溶接科、エコシステム科)	働
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部	企業実習付き訓練 (デュアルコース)	概ね55歳未満の離職者の方々を対象に、ポリテクセンター内での離職者訓練と、企業での約1か月の企業実習とを組み合わせた7か月の訓練を実施。(家づくり実践科、電気設備技術科)	働
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部	学卒訓練	北海道職業能力開発大学校(銭函)では、ものづくりの基本を習得し、企業の製造現場での最新の機能・技術に対応できる人材を養成。(建築科、建築施工システム技術科)	
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部	能力開発セミナー	中小企業等で働く方々を対象に技能・技術の向上を図る在職者訓練を「ものづくり分野」に特化して概ね2～5日の期間で実施。(木造住宅の耐震精密診断技術、鉄筋の加工・組立実践技術、木造住宅における許容応力度設計技術など)	働
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部	生産性向上支援訓練	企業の生産性を向上させるための職業訓練。マーケティング、リスクマネジメント、顧客満足度向上、IoT活用、品質管理などの訓練コースを企業ニーズに合わせてカスタマイズし、民間の教育訓練機関に委託して実施する訓練。	働
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部	IT活用力セミナー	ITを使いこなして、企業・業務の生産性向上やビジネスチャンスの創出・拡大に結び付けることのできる能力を習得することを目的として、専門的な知見とノウハウを有する民間機関等に委託して実施する職業訓練	働
(一社)北海道商工会議所連合会	キャリアサポート連携会議	道内45大学(短期含む)と大学所在の商工会議所による会議 学生の傾向、就職状況、求人状況等について情報共有を図り、事業・諸施策等に反映 ・開催時期 未定	働
(一社)北海道商工会議所連合会	スキャナビ北海道	道内企業の大学生等の採用促進を目指し、学生向けに道内企業の情報を発信する就活支援システム ・登録企業数 301社・団体(4/27現在) ・登録資格 道内42商工会議所会員企業・団体	働
(一社)北海道商工会議所連合会	スキャナビフォーラム	学生と企業のマッチングに促進に向け、道内大学と企業との一層の連携を深めることが目的(今年度は、高校・高専も対象) 双方向の情報交換、企業PR・求人および相互の親交を深める場を提供 今年度は、首都圏大学にもご参加いただく予定 ・開催予定 未定 ・開催地 北見、旭川、札幌	働
(一社)北海道商工会議所連合会	アンケート調査	・大学側 就職状況調査、追加求人の必要性や企業への依頼事項を調査を年3回程度実施 ・企業側 採用状況調査、追加求人を依頼、大学側の情報を提供を年3回程度、就職活動スケジュールに合わせて実施し、集約した情報は、大学・企業にフィードバックし、次の展開につなげる	働
(一社)北海道商工会議所連合会	社会人講座・企業訪問	学生(1,2年生)に、経営者の目線や働くことの意義を知っていただくことと、札幌以外の企業・地域にも視野を広げてもらえるような機会を提供 ・社会人講座 若手経営者(30～40代)を大学に派遣 講義ではなく、少数の学生と経営者1名で懇談 ・企業訪問 上記経営者の企業に実際に訪問し、社内の雰囲気、社員の働き方、社業を直接見聞 ・開催時期 未定	働

団体名	事業名等	事業の概要	備考
札幌市	建設業人材確保・育成支援事業PR事業 (夏休み親子土木施設見学ツアー)	・対象～小学生とその保護者 ・場所～市内 ・時期～7月下旬頃で2回開催 ・内容～施工中の大規模な建設工事や土木施設の裏側を紹介しながら、建設産業の役割と魅力を伝える。 (新型コロナウイルスに係る社会情勢を踏まえ開催可否を判断)	
札幌市	建設業人材確保・育成支援事業PR事業 (土木施設めぐり女子ツアー)	・対象～土木を学ぶ女子学生、女性技術者 ・場所～市内 ・時期～10月 ・内容～施工中の大規模な建設工事や土木施設の裏側を紹介しながら、建設産業の役割と魅力を伝える。 (新型コロナウイルスに係る社会情勢を踏まえ開催可否を判断)	働
札幌市	建設業人材確保・育成支援事業PR事業 (大学生、高校生現場見学会)	・対象～北海道科学大学、北海学園大学、札幌工業高校の生徒 ・場所～市内 ・時期～9月～10月で各1回開催 ・内容～施工中の大規模な建設工事を紹介しながら、建設産業の役割と魅力を伝える。 (※大学生見学会については、札幌建設業協会との共催) (新型コロナウイルスに係る社会情勢を踏まえ開催可否を判断)	働
札幌市	建設産業ふれあい展	・対象～道民 ・場所～札幌駅前通地下歩行空間 ・時期～1月 ・内容～建設産業の魅力や役割を広く道民にPRする。(仕事体験、パネル展示、クイズラリーなど) (北海道との共催) (新型コロナウイルスに係る社会情勢を踏まえ開催可否を判断)	
北海道教育庁	北海道ふるさと・みらい創生推進事業	地域創生の基盤となる若者の道内定着を促進し、地域の発展に貢献する人材を育成するため、知事部局と連携してキャリア教育や産業教育の充実に取り組む。 (1)総合的なインターンシップの実践 (2)国際水準GAP教育推進プロジェクト (3)高等学校OPENプロジェクト	働
北海道教育庁	高等学校就職促進マッチング事業	高校生や進路指導教員等を対象に、求職と求人とのミスマッチが生じている企業・業種に対する理解の促進を図るための見学会等を実施し、職業選択の幅を広げるなどキャリア教育を推進するとともに就職支援の充実を図る。	働
北海道教育庁	高校生インターンシップ推進事業	高等学校及び中等教育学校が、地域や地元の企業等の相互の理解・協力関係を確立し、インターンシップの諸課題の解決を図りながら、インターンシップの実施を推進する。	働